

架け替え工事が完了した鴨橋を渡る地元住民ら＝20日、山陽小野田市



厚狭川の「鴨橋」架け替え 渡り初め

2010年7月の豪雨災害を受けて県が河川改修を進めている山陽小野田市の厚狭川で鴨橋の架け替え工事が完了した。20日に開通式があり、多くの地元住民らが新しい橋の完成を祝って渡り初めに参加した。

山陽小野田で開通式

県宇部土木建築事務所と市によると、鴨橋は市道殖生田下村線の一部。13年11月、河道の拡幅などに伴う架け替え工事に着工した。新しい橋はコンクリート製で長さ69・9メートル、幅7・1メートル。4本あった橋脚を2本にし、川の水が流れる面積を広くして治水上の安全を確保した。照明や防護柵は旧橋のデザインを継承し、親柱と橋名板は旧橋のものを活用している。架け替えの総事業費は約3億3600万円。

開通式で白井博文市長は「最新の技術と構造を持ちながら先代の面影を残した橋が完成した。先代と同様に地域の皆さまにかわいがっていただけたら」と述べ、関係者と一緒にテープカット。河川敷で市消防団厚狭分団が記念放水をする中で住民らが橋を渡った。式典終了後に地元の本町1区自治会が中心となった実行委員会が寝太郎太鼓の披露や餅まきなどの記念行事を実施した。